



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月29日  
上場取引所 東

上場会社名 NECキャピタルソリューション株式会社  
 コード番号 8793 URL <https://www.necap.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今関 智雄  
 問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション部長 (氏名) 児玉 誠一郎 (TEL) 03(6720)8400  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月6日 配当支払開始予定日 2019年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・取引金融機関向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	114,573	13.4	8,205	74.6	8,740	112.1	5,365	99.3
2019年3月期第2四半期	101,011	△9.1	4,700	△57.1	4,120	△62.2	2,691	△43.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 7,670百万円(179.9%) 2019年3月期第2四半期 2,740百万円(△69.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	249.18	—
2019年3月期第2四半期	125.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	923,376	105,572	10.2
2019年3月期	895,683	105,999	9.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 93,745百万円 2019年3月期 88,966百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2020年3月期	—	30.00			
2020年3月期(予想)			—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	2.9	10,000	12.0	10,000	12.3	6,500	1.7	301.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	21,533,400株	2019年3月期	21,533,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	507株	2019年3月期	466株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	21,532,899株	2019年3月期2Q	21,532,970株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお予想数値に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

- ・四半期決算短信補足説明資料は、当社ホームページで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. その他	12
(1) セグメント別の状況	12
(2) 営業資産残高	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響による中国向け製造設備の輸出減少などが見られたものの、省力化・自動化需要に対応する国内設備投資に加え、消費増税前の駆け込み需要などを背景に緩やかな拡大基調が継続しております。一方で、米中貿易摩擦の先行きや、米国、欧州の金融政策など国内景気に大きな影響を及ぼす可能性のある不確定要素も多く、今後の動向を注視する必要があると考えております。

当社グループの属するリース業界においては、業界全体の2019年9月累計のリース取扱高は、前年同期比14.2%増の2兆6,983億円と、前年同期を上回る状況となっております。(出典：公益社団法人リース事業協会「リース統計」)

このような状況下において、当社賃貸・割賦事業では、主要顧客である官公庁等との良好な取引関係を活かして取引規模の拡大を図ると共に、大型のベンダーファイナンス案件の獲得や小口リースの増加により、当第2四半期連結累計期間における契約実行高、成約高共に前年同期を大幅に上回る結果となりました。

ファイナンス事業においては、一括ファクタリング等の扱いが減少したものの、従来のNECグループ商流に留まらない幅広い顧客に対するファイナンス案件の取り組みや、メガバンクをはじめとした各金融機関とのパートナーシップ強化を行ったことから、契約実行高、成約高共に前年同期を上回る結果となりました。

リサ事業においては、ファンドビジネスにおける投資有価証券の売却や配当収益により、売上高、営業利益共に前年同期を大幅に上回りました。

また、その他の事業においては、当期に大型の賃貸資産の売却があったことから、売上高は前年同期を上回り、営業損失は改善しました。

経営成績においては、売上高は営業資産の積み上げや投資有価証券の売却等により、賃貸・割賦事業をはじめ、すべてのセグメントで前年同期を上回っております。また、営業利益、経常利益については、主にリサ事業の増益に伴い前年同期比増となり、非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した後の親会社株主に帰属する四半期純利益についても前年同期を上回る結果となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,145億73百万円(前年同期比13.4%増)、営業利益82億5百万円(同74.6%増)、経常利益87億40百万円(同112.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益53億65百万円(同99.3%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①賃貸・割賦事業

賃貸・割賦事業の売上高は、前年同期比1.9%増の848億41百万円となったものの、営業利益は販売費及び一般管理費の増加等により、前年同期比6億87百万円減少し18億10百万円となりました。

#### ②ファイナンス事業

ファイナンス事業の売上高は、前年同期比8.2%増の32億88百万円となったものの、営業利益は貸倒引当金戻入額の減少等により、前年同期比5億59百万円減少し14億42百万円となりました。

#### ③リサ事業

リサ事業の売上高は、当期の大型のファンドによる営業投資有価証券の売却や配当収益により前年同期比81.0%増の149億87百万円となり、営業利益は前年同期比45億62百万円増加し60億28百万円となりました。

#### ④その他の事業

その他の事業の売上高は、当期に大型の賃貸資産の売却があったことから前年同期比78.7%増の115億1百万円となり、営業損失は前年同期比1億1百万円改善し2億50百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて276億93百万円増加し、9,233億76百万円となりました。主な要因としては、営業投資有価証券が51億60百万円、買取債権が21億97百万円減少したものの、営業貸付金が264億1百万円、割賦債権が55億28百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて281億20百万円増加し、8,178億4百万円となりました。主な要因としては、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が98億22百万円減少したものの、コマーシャル・ペーパーが330億円、短期借入金が60億91百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4億26百万円減少し、1,055億72百万円となりました。主な要因としては、利益剰余金が、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益等により47億19百万円増加したものの、非支配株主持分が52億5百万円減少したことによります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下資金という）は、191億68百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果によって使用した資金は201億80百万円（前年同期は250億48百万円の収入）となりました。これは主に営業貸付金の増加額264億1百万円があったことによります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果によって使用した資金は26億53百万円（前年同期は40億41百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の償還による収入75億48百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出81億55百万円があったことによります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果によって得られた資金は215億76百万円（前年同期は354億38百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出501億47百万円があったものの、長期借入れによる収入404億22百万円及びコマーシャル・ペーパーの増加額330億円があったことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年7月30日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,041	19,564
割賦債権	20,234	25,762
リース債権及びリース投資資産	431,727	433,280
貸貸料等未収入金	20,201	19,676
営業貸付金	243,682	270,083
買取債権	12,873	10,675
営業投資有価証券	18,392	13,232
販売用不動産	3,740	3,533
その他	13,686	17,053
貸倒引当金	△4,950	△4,615
流動資産合計	780,629	808,246
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	54,703	54,326
社用資産	4,842	5,193
有形固定資産合計	59,546	59,520
無形固定資産		
賃貸資産	1,426	1,373
のれん	2,364	1,821
その他	2,120	2,139
無形固定資産合計	5,910	5,335
投資その他の資産		
投資有価証券	39,247	40,669
その他	12,569	12,103
貸倒引当金	△2,220	△2,497
投資その他の資産合計	49,596	50,275
固定資産合計	115,054	115,130
資産合計	895,683	923,376

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	1,439	1,032
買掛金	18,912	18,152
短期借入金	40,492	46,584
1年内返済予定の長期借入金	143,667	124,614
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
コマーシャル・ペーパー	168,000	201,000
債権流動化に伴う支払債務	4,079	3,744
未払法人税等	812	801
賞与引当金	832	1,350
その他	17,652	19,089
流動負債合計	415,890	426,370
固定負債		
社債	70,000	80,000
長期借入金	286,421	295,651
債権流動化に伴う長期支払債務	8,679	6,938
退職給付に係る負債	2,139	2,102
その他	6,553	6,740
固定負債合計	373,793	391,434
負債合計	789,684	817,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,776	3,776
資本剰余金	4,645	4,645
利益剰余金	80,156	84,875
自己株式	△0	△0
株主資本合計	88,577	93,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	537	791
繰延ヘッジ損益	△298	△383
為替換算調整勘定	154	42
退職給付に係る調整累計額	△4	△2
その他の包括利益累計額合計	388	448
非支配株主持分	17,032	11,826
純資産合計	105,999	105,572
負債純資産合計	895,683	923,376

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	101,011	114,573
売上原価	88,901	97,391
売上総利益	12,110	17,182
販売費及び一般管理費	7,409	8,976
営業利益	4,700	8,205
営業外収益		
受取利息	5	10
受取配当金	39	42
持分法による投資利益	1	—
投資事業組合等投資利益	50	280
為替差益	—	219
その他	15	30
営業外収益合計	113	583
営業外費用		
支払利息	10	9
持分法による投資損失	—	13
投資事業組合等投資損失	40	8
為替差損	630	—
その他	12	16
営業外費用合計	693	48
経常利益	4,120	8,740
税金等調整前四半期純利益	4,120	8,740
法人税、住民税及び事業税	1,061	856
法人税等調整額	292	270
法人税等合計	1,354	1,127
四半期純利益	2,766	7,613
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	2,248
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,691	5,365



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	2,766	7,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	261
繰延ヘッジ損益	△133	△82
為替換算調整勘定	11	△111
退職給付に係る調整額	△87	2
持分法適用会社に対する持分相当額	232	△13
その他の包括利益合計	△25	56
四半期包括利益	2,740	7,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,666	5,425
非支配株主に係る四半期包括利益	73	2,425

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,120	8,740
減価償却費	4,330	5,432
のれん償却額	542	542
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△901	△57
賞与引当金の増減額(△は減少)	397	520
退職給付に係る資産及び負債の増減額(△は減少)	27	△45
受取利息及び受取配当金	△45	△53
資金原価及び支払利息	2,475	2,437
持分法による投資損益(△は益)	△1	13
為替差損益(△は益)	2,441	△1,123
割賦債権の増減額(△は増加)	359	△5,528
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	16,149	△1,552
営業貸付金の増減額(△は増加)	1,146	△26,401
売上債権の増減額(△は増加)	514	525
買取債権の増減額(△は増加)	1,126	2,070
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△2,001	3,798
販売用不動産の増減額(△は増加)	3,875	559
賃貸資産の取得による支出	△7,177	△8,242
賃貸資産の売却による収入	645	5,301
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,828	△1,789
その他	3,911	△2,241
小計	29,108	△17,090
利息及び配当金の受取額	58	43
利息の支払額	△2,517	△2,424
法人税等の支払額	△1,601	△709
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,048	△20,180

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
社用資産の取得による支出	△355	△934
投資有価証券の取得による支出	△6,458	△8,155
投資有価証券の償還による収入	3,354	7,548
その他	△581	△1,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,041	△2,653
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,285	6,966
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△28,000	33,000
長期借入れによる収入	47,184	40,422
長期借入金の返済による支出	△52,864	△50,147
債権流動化の返済による支出	△3,754	△2,075
社債の発行による収入	20,000	10,000
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△603	△645
非支配株主への配当金の支払額	△12,364	△6,311
非支配株主からの払込みによる収入	1,677	366
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,438	21,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	312	△260
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△14,120	△1,518
現金及び現金同等物の期首残高	35,124	20,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,004	19,168

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	83,282	3,039	8,281	6,436	101,039	△28	101,011
セグメント利益 又は損失(△)	2,497	2,002	1,466	△351	5,614	△914	4,700

(注) 売上高の調整額△28百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△914百万円は、セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	84,841	3,288	14,987	11,501	114,619	△45	114,573
セグメント利益 又は損失(△)	1,810	1,442	6,028	△250	9,031	△825	8,205

(注) 売上高の調整額△45百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△825百万円は、セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (重要な後発事象)

## (国内普通社債の発行)

当社は2019年3月28日開催の取締役会にて決議された2019年度の国内無担保普通社債発行の限度額及びその概要に基づき、2019年10月21日に無担保社債を発行いたしました。

その内容は次のとおりであります。

(1) 銘柄	第17回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)
(2) 発行総額	10,000百万円
(3) 発行年月日	2019年10月21日
(4) 発行価額	各社債の金額100円につき金100円
(5) 利率	年0.040%
(6) 償還期限	2022年10月21日
(7) 償還方法	満期償還 (但し、払込期日の翌日以降いつでも買入消却できる)
(8) 資金の用途	設備資金 (リース物件の賃貸資産購入資金を含む)

## 3. その他

## (1) セグメント別の状況

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	83,282	76,211	7,071	1,562	5,508	3,010	2,497
ファイナンス事業	3,039	4	3,035	662	2,372	369	2,002
リサ事業	8,281	4,573	3,708	197	3,510	2,043	1,466
その他の事業	6,436	5,658	778	37	740	1,092	△351
調整	△28	△6	△21	—	△21	893	△914
合計	101,011	86,439	14,571	2,461	12,110	7,409	4,700

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	84,841	77,713	7,127	1,529	5,598	3,787	1,810
ファイナンス事業	3,288	225	3,062	651	2,411	968	1,442
リサ事業	14,987	6,415	8,571	197	8,374	2,345	6,028
その他の事業	11,501	10,624	876	40	836	1,087	△250
調整	△45	△7	△37	—	△37	787	△825
合計	114,573	94,972	19,601	2,419	17,182	8,976	8,205

(注) 1. セグメントの区分は、主な営業取引の種類により区分しております。

2. 各セグメントの主要品目は以下のとおりであります。

- ①貸貸・割賦事業……情報・事務用機器、産業・土木・建設機械等の貸貸(リース・レンタル)及び割賦販売業務等
- ②ファイナンス事業…金銭の貸付業務、ファクタリング業務及び営業目的の収益を得るために所有する有価証券の投資業務等
- ③リサ事業……………株式会社リサ・パートナーズが行っている企業投資、債権投資、不動産、ファイナンス及びアドバイザー業務
- ④その他の事業……………物品売買、貸貸取引の満了・中途解約に伴う物件売却、手数料取引、ベンチャー企業向け投資、ヘルスケア関連及び太陽光発電売電業務等

## (2) 営業資産残高

セグメントの名称	前第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (2019年9月30日)		増減 金額(百万円)	(参考) 前連結会計年度 (2019年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)
貸貸・割賦事業	479,470	59.3	514,743	60.4	35,272	507,839	61.4
ファイナンス事業	260,826	32.3	282,799	33.2	21,972	254,015	30.7
リサ事業	65,760	8.1	50,658	5.9	△15,102	62,070	7.5
その他の事業	2,390	0.3	3,837	0.5	1,447	2,908	0.4
合計	808,448	100.0	852,038	100.0	43,590	826,834	100.0

(注) 当第2四半期連結会計期間におけるリサ事業の営業資産残高の内訳は、営業貸付金が9,270百万円、買取債権が10,675百万円、営業投資有価証券が10,907百万円、販売用不動産が2,020百万円、投資有価証券が17,784百万円となっております。